

2024年12月3日

長谷エコーポレーション

C02 排出量実質ゼロ「サステナブルシエ本行徳」GREEN リノベーション 令和6年度 気候変動アクション環境大臣表彰を受賞

株式会社長谷エコーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：池上 一夫、以下、長谷工）は、自社で運営する賃貸マンションプロジェクト「サステナブルシエ本行徳」におけるGREEN リノベーションの取り組みが、「令和6年度 気候変動アクション環境大臣表彰」（先進導入・積極実践部門（緩和分野））を受賞しました。表彰式は12月2日に東京都内で開催され、長谷工からは常務執行役員の若林 徹が出席し、表彰状の授与を受けました。

環境省では、平成10年度（1998年度）から、地球温暖化対策推進の一環として「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を行っていましたが、令和2年度（2020年度）より、「気候変動アクション環境大臣表彰」として実施しています。この表彰は、気候変動対策の推進に顕著な功績のあった個人・団体をたたえるものです。

「サステナブルシエ本行徳」は、既存マンションの価値向上と、新たな住まい価値創造を目的とし、国内で初めて^{*1}既存企業社宅を賃貸マンションに全面改修し建物運用時のC02排出量実質ゼロを実現したプロジェクトです。「GREEN リノベーション」として、オール電化改修と非化石証書（再エネ指定）の導入、さらに屋根・外壁・バルコニー手摺への太陽光発電設備の設置や、純水素燃料電池の採用、余剰電力のセントラルエコキュート活用といった取り組みを実践し、マンションの非化石エネルギー活用の可能性を迫っています。なお、改修による強化外皮基準（UA値）およびZEH-M Oriented相当の一次エネルギー消費量とすることでBELS認証を取得しました。併せて「レジデンス ラボ」として、一部住戸を実験住宅に設定し、再エネ利用、省エネ、快適性など、様々な視点からライフスタイルのデータを取得しています。

当社グループは、「都市と人間の最適な生活環境の創造」に向けて、地球温暖化の防止に貢献するための取り組みを進めており、今後も、脱炭素や建物の長寿命化に資する研究開発に活かしてまいります。

※ 2022年6月13日時点（株ESP 総研調べ（調査期間：2022年5月23日～6月6日、調査方法：「集合住宅またはマンション」「再生可能エネルギー」「リノベーションまたは改修」のキーワードによる公開情報検索および多面的な市場調査による）



表彰式の様子（左：土居地球環境局長 右：若林常務執行役員）

令和6年度
気候変動アクション
環境大臣表彰



■ 気候変動アクション環境大臣表彰

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/min_action_award/about.html

■ サステナブランシェ本行徳 物件概要

所在地 : 千葉県市川市本行徳 5-16
交通 : 東京メトロ東西線 妙典駅 徒歩 6 分
敷地面積 : 1,651.83 m² (499.68 坪)
延床面積 : 3,071.06 m² (928.99 坪)
構造・戸数 : 鉄筋コンクリート造 地上 5 階建 36 戸
既存建物 : 1990 年 2 月
竣工時期 : 2023 年 9 月
事業主 : 株式会社長谷工コーポレーション
設計・施工 : 株式会社長谷工リフォーム



プロジェクトホームページ : <https://www.haseko.co.jp/sustainabranch/>